

取組技術分野（技術分科会）

○清酒製造技術分科会（山口県酒造組合員限定）

【背景】

日本酒は伝統的に製造されているアルコール飲料ですが、その国内消費量は1973年をピークに減少し続けています。一方で、輸出額はこの10年で約4倍の411億円となっています。しかしながら、国内人口の減少と海外市場の逼迫を鑑みると販売数量のさらなる拡大には限界があることから、多種多様な日本酒開発と高価格・高品質化が必須となっています。

【活動概要】

日本酒の高価格・高品質化に向けて、醸造技術（原料米の浸漬からもろみの発酵管理等）や各種分析技術、効き酒能力向上等に係る講習会の開催等の取組を行います。